

2BIM

取扱説明書

TBM-GK1



■本製品のお問い合わせ先

まずはFAXもしくはEメールにてお問い合わせください。

FAX番号：0827-35-5268

E-MAIL：support@2bimbike.com

<http://e-time.tsubame-group.co.jp/>

最新版の取扱い説明書はこちらでダウンロードできます。



仕様変更などによりイラストや内容が一部実車と異なる場合があります。

- この度はお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この商品を正しく安全に使用していただくために、お使いになる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管し、必要なときにお読みください。

本書では2BM（当製品）を正しく安全に使用するために必要なことを説明しております。

お乗り頂く前に必ず本書の内容を注意深く読み、組み立て、機能、メンテナンス、制限及び使用上の注意事項を完全に理解した上で当製品をご使用ください。

ただし、本書では電動アシスト自転車を安全に乗るために必要な技術やスキルについては記載しておりません。

- 本書は印刷時に入手可能な最新の情報に基づいています。
- 本書は常に当製品と一緒に保管し、必要に応じて参照してください。
- 本書及び当製品は予告なく変更することがあることに注意してください。
- 最新の情報について株式会社ツバメ・イータイムズの2BMホームページ (<https://2bmbike.com/>) をチェックしてください。
- 本書は株式会社ツバメ・イータイムズの書面による許可なしに、全部または一部を複製、変更することはできません。

ヘルメット着用の努力義務化について

自転車に乗車するときには安全のため、必ずヘルメットを着用してください（同乗者も含む）
改正道路交通法の施行により、令和5年4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されます。

自転車を運転するすべての人がヘルメットをかぶることに努めなければならないのはもちろんのこと、同乗する方にもヘルメットをかぶらせるように努めなければなりません。

また、保護者等の方は、児童や幼児が自転車を運転する際は、ヘルメットをかぶらせるよう努めなければなりません。

< ヘルメット着用について >

- 必ず自転車専用のヘルメットをご着用ください。
- 頭のサイズに合ったヘルメットをご着用ください。
- ヘルメットは取り扱い説明書等をご確認の上、正しくご着用ください

< ヘルメット着用時の注意 >

- 着用時は前側部を眉毛の上あたりに来るよう水平にご着用ください。
- ヘルメットは着用時に上から押さえて後部アジャスターでしっかりと固定してください。
- あご紐のバックルを装着後、あごと紐の隙間が指1～2本くらいに調整してください
- ヘルメットが前後左右に動かして容易にずれることがないよう、頭にヘルメットがフィットしているかご確認ください。

目次

1. はじめに	3
1-1. 安全に関する表示	3
1-2. 安全にお使いいただくために	3.4
2. 組立	5
2-1. 内容物の確認	5.6
2-2. 前輪タイヤの取り付け	7.8
2-3. ハンドルバーの取り付け	9
2-4. 前照灯部品の取り付け	10
2-5. シートの取り付け	11
3. 使用方法	12
3-1. 各部の名前	12.13
3-2. 電源/モードスイッチの使い方	14
3-3. ディスプレイについて	14
3-4. 乗車前の確認	15.16
3-5. バッテリーについて (充電方法)	17
4. オプションの取り付け方	18
4-1. リアキャリアの取り付け方	18
4-2. 前カゴの取り付け方	19
5. メンテナンス	20
5-1. 日常のお手入れ	20
5-2. 定期的な点検	20
6. 廃棄について	20
7. 保証について	20
販売証明書	21

1. はじめに

1-1. 安全に関する表示

 危険	誤った使い方をした場合、死亡や重傷を負うことや、物的損害の発生するおそれが高いことを示しています。
 警告	誤った使い方をした場合、死亡や重傷を負うことや、物的損害の発生する可能性があることを示しています。
 注意	誤った使い方をした場合、障害を負うことや、物的損害の発生する可能性があることを示しています。

1-2. 安全にお使いいただくために

① 本体について (電動アシスト自転車特有の危険があります)

	乗車の前には毎回、P13の項目の内容を確認してください。 走行中の破損やブレーキが効かないことによる転倒や衝突の恐れがあります。
	改造や分解、また指定箇所以外への注油はしないでください。 走行中の破損やブレーキが効かないことによる転倒や衝突の恐れがあります。
	オプションや荷物などを取り付ける場合、乗車の前に安全性や歩行者に危害を及ぼすことがないか十分に注意し確認してください。 走行中の破損やブレーキが効かないことによる転倒や衝突の恐れがあります。
	操作に慣れるまで交通量が少ない場所で十分に練習してください。 通常の自転車と特性が異なる加速特性、アシスト特性があります。最初は安全な場所で特性を十分に理解してください。 慣れない状態で乗車すると事故や転倒の恐れがあります。
	ペダルは必ず本製品に正しく跨った状態で操作してください。 急な加速で事故や転倒の恐れがあります。
	本製品に跨る際は必ずブレーキをかけた状態で行なってください。 急な加速で事故や転倒の恐れがあります。
	乗車中に停止する場合は、停止中にブレーキを解除しないでください。 また、ペダルを動かさないでください。 急な加速で事故や転倒の恐れがあります。
	バッテリーはバッテリーキーで確実に固定した状態で乗車してください。 走行中のバッテリー落下で事故や転倒の恐れがあります。
	バッテリーの接続端子は触れたり濡らしたりしないでください。 バッテリーにおいて感電、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

②バッテリーについて

⚠ 危険	指定の充電器以外で充電しないでください。 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	本製品以外で使用しないでください。 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	火への投入、加熱をしないでください。 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	強い衝撃を与えない、分解や破損した状態で使用しないでください。 感電、発熱、発火、破裂、液漏れによるやけど、失明の恐れがあります。
	端子に触れない、端子に金属などを接触させないでください。保管時に端子に金属が触れないようにしてください。 感電、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
⚠ 警告	火のそばや直射日光、暖房のそばなど高温になる場所で充電、使用、保管をしないでください。 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	水に入れたり、水中に投下したりしないでください。 感電、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	充電中、使用中及び使用直後に長時間触れたり、カバーをかけたり、燃えやすいものを側に置いたりしないでください。 火傷、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	幼児やペットが触れる場所で充電、保管しないでください。 感電、故障、火傷の恐れがあります。
	廃棄の際は必ず自治体の指示に従って廃棄してください。 火傷、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

③充電器について

⚠ 警告	本製品のバッテリー充電以外の用途で使用しないでください。 感電、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	分解、改造はしないでください。 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	衝撃を与える、水濡れ、高湿度環境での使用はしないでください。 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	充電端子に触れたり、金属を接触させたりしないでください。 感電、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	電源コード（コンセント側）や電源プラグ（バッテリー側）及び本体が、破損したり改造された状態で使用しないでください。 コードは傷つける、無理に曲げる、束ねる、無理にねじる、無理に引っ張る、熱を加えることにより破損します。感電、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	充電端子や電源プラグのほごりは定期的に取りってください。 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	濡れた手で取り扱いしないでください。 感電の恐れがあります。
	電源コード（コンセント側）や電源プラグ（バッテリー側）は確実に奥まで差し込んでください。 感電や発熱により発火、破裂の恐れがあります。
	配線器具の定格を超えて使用しない、タコ足配線で使用しないでください。 発熱により発火、破裂の恐れがあります。
	充電中、使用中及び使用直後に長時間触れたり、カバーをかけたり、燃えやすいものを側に置いたりしないでください。 火傷、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
	幼児やペットが触れる場所で充電、保管しないでください。 感電、故障、火傷の恐れがあります。

お知らせ

2BMホームページに取付参考動画があります。ぜひご覧下さい。
<https://2bmbike.com/>

2. 組立

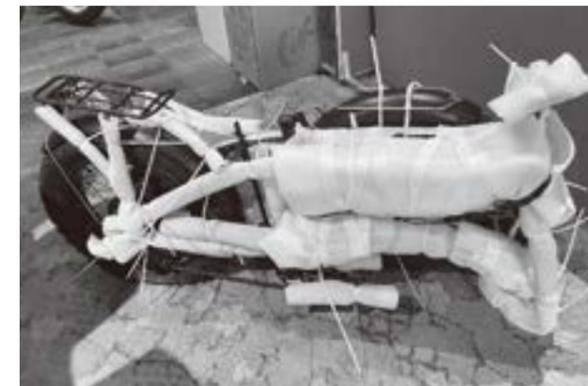
2-1. 内容物の確認

開梱したら最初に同梱品をご確認ください。

⚠ 注意：梱包から同梱品を取り出す際、重量が重いため怪我をしないようにご注意ください。
(移動、開梱は2名での作業を推奨します。)

No.	品目	数量	説明
1	取扱説明書	1	本書
2	本体フレーム	1	TBM
3	シート、シートポスト	1	シート
4	ハンドルバー部品	1	ハンドルバー部品
5	ペダル	2	ペダル
6	バッテリー固定キー	2	バッテリーの固定、取り外しをするためのキーです。(予備1個)
7	フェンダー	1	前後タイヤのフェンダー（泥除け）
8	前輪タイヤ	1	前輪タイヤ+取り付け部品
9	バッテリー	1	メインバッテリー
10	前照灯部品	1	前照灯
11	工具キット	1	組立、整備用
12	空気入れ	1	タイヤへの空気入れ用
13	充電器	1	バッテリー充電器
14	ACケーブル	1	充電器用ACケーブル
15	ハンドルバー固定ボルト	4	ハンドルバー固定用ボルト
16			
17			
18			

梱包品は以下のような形態で梱包されます。(写真はイメージです)

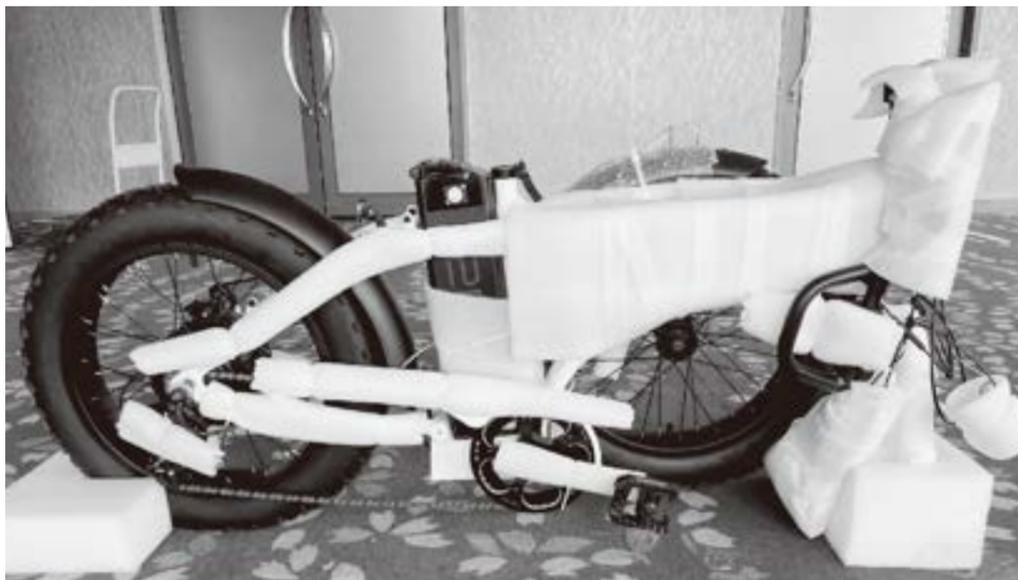


本書
本体一式：2BM本体と
主要な構成部品が含まれます。

⚠ 注意

後輪タイヤは梱包の都合上、空気を抜いた状態です。
乗車前に必ず空気を入れてください。
空気を入れる際はタイヤにチューブを挟まないこと、
バルブをタイヤ内に押し込まないことに注意してください。
空気を入れる前にバルブは軽く引っ張ってください。

※後部のリアキャリアはオプションです。



付属品一式

- Ⓚ 工具キット
- Ⓛ 充電器・ACケーブル
- Ⓜ サドル
- Ⓝ ペダル
- ⓐ 鍵
- ⓑ バッテリー

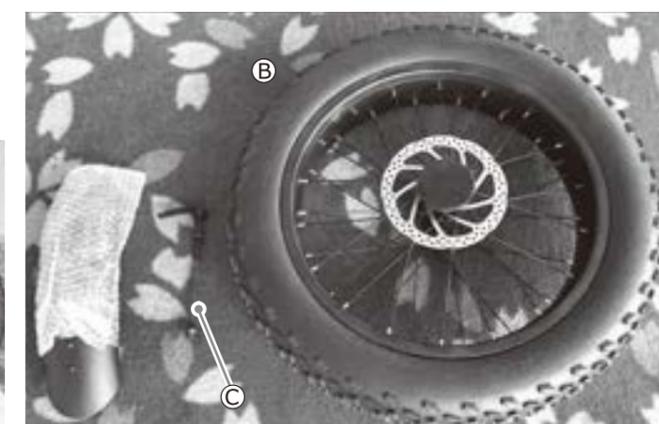
2. 組立

2-2. 前輪タイヤの取り付け

必要部材：本体フレーム、前輪タイヤ・取り付け部品、フロントフェンダー

① 前輪タイヤと前輪タイヤに付いている取り付け部品の梱包を外す。

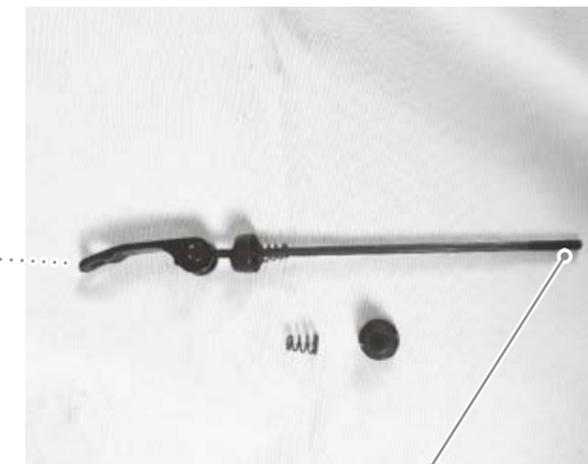
- Ⓐ 前輪タイヤ・取り付け部品
- Ⓑ 前輪タイヤ
- Ⓒ 取り付け部品



② 前輪タイヤの中心穴に取り付け部品を取り付ける。
(後で増し締めをするためネジは2~3山程度だけ緩めに締めてください)



① 取り付け部品をタイヤのセンター穴に通し、



② 取り付け部品のレバーがない方のネジとバネを外します。

③フロントフェンダーをフロントフォークに既に付いているボルトで取り付ける。

*ボルトの固定は付属工具キットの六角レンチを使用します。

Ⓐフロントフェンダーボルト(頂点)



④本体のフロントフォークを持ち上げながら前輪タイヤのシャフトをフロントフォークに差し込み、取り付け部品のネジをレバーが動かせるギリギリまで締め、最後に取り付け部品のレバーを倒しタイヤをロックする。



フロントフォーク

①フロントフォーク先端の切り欠きに前輪タイヤのシャフト(軸)を差込む



②取り付け部品のレバーを倒して前輪タイヤを、



レバーが手で倒せる限界までネジを締める

⚠ **注意:** 前輪タイヤ取り付け時にブレーキディスクを曲げたり、ぶつけたりしないように気をつけてください。本体は重いため、前輪タイヤ取り付け時に指などを挟まないように気をつけてください。前輪タイヤ固定後、前輪タイヤを回転させタイヤの回転がスムーズであり、回転異常がないことを確認後、前輪ブレーキが正常に動作し、前輪タイヤが停止することを確認してください。

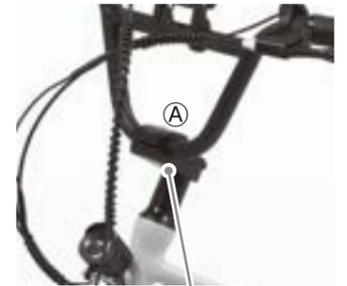
2-3. ハンドルバーの取り付け

必要部材: 本体フレーム、ハンドル固定金具・ボルト

①ハンドルバーの梱包を外す。

②ハンドルバーを本体のハンドル固定部分の窪みに仮置きする。

Ⓐハンドルバー固定部分



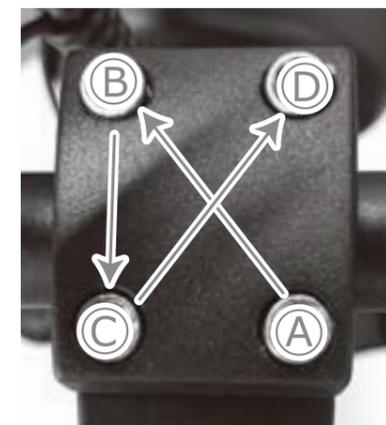
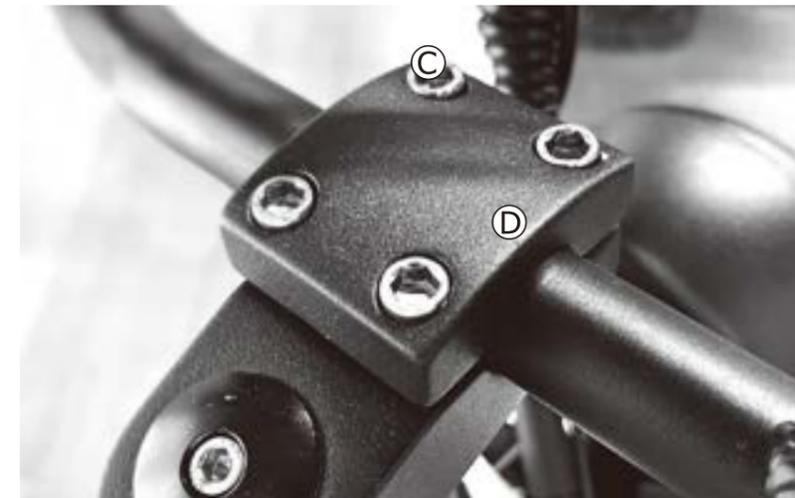
ハンドルバーを固定部分の窪みに合わせる

③ハンドルバー固定金具とボルトでハンドルバーを固定する。

*ボルトの固定は付属工具キットの六角レンチを使用します。

Ⓒハンドルバー固定ボルト(4本)

Ⓓハンドルバー固定金具



⚠ **注意:** ハンドルバー固定ボルトは最初緩めから対角線の順番に徐々に締めてください。
(A→B→C→D→Aの順に徐々に締め付けていきます)

2. 組立

2-4. 前照灯部品の取り付け

必要部材：本体フレーム、前照灯部品、前照灯固定金具、前照灯固定ボルト

- ①前照灯下部をフレームと固定する。
- ②前照灯がガタつかないように固定する。

*ボルトの固定は付属工具キットの六角レンチを使用します。



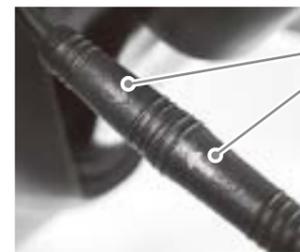
- ①前照灯と前照灯固定金具をボルトで1箇所固定する。

ボルトは3本取り付けてあります。
オプションの「前かご」取り付け用です。
1番下のボルトで前照灯を固定してください。

- ③前照灯部品のコネクタ2種を本体から出ている同色のコネクタにコネクタの色が見えなくなるまで差込み接続する

*コネクタは赤、黒の2色で色分けされています。

*誤った位置で刺さらない機構ですが、コネクタの矢印刻印同士を合わせてから差し込んでください。



位置合わせ用矢印刻印

コネクタの矢印刻印同士を合わせてコネクタの色が完全に隠れるまで確実に奥まで差込みます。

⚠ 注意：接続するコネクタ同士の色は必ず合わせてください。
コネクタ差込時にコネクタを破損しないように注意してください。
コネクタは確実に奥まで差込み、本体完成後動作確認してください。

2-5. シートの取り付け

必要部材：本体フレーム、シート

- ①シートポストを差し込む



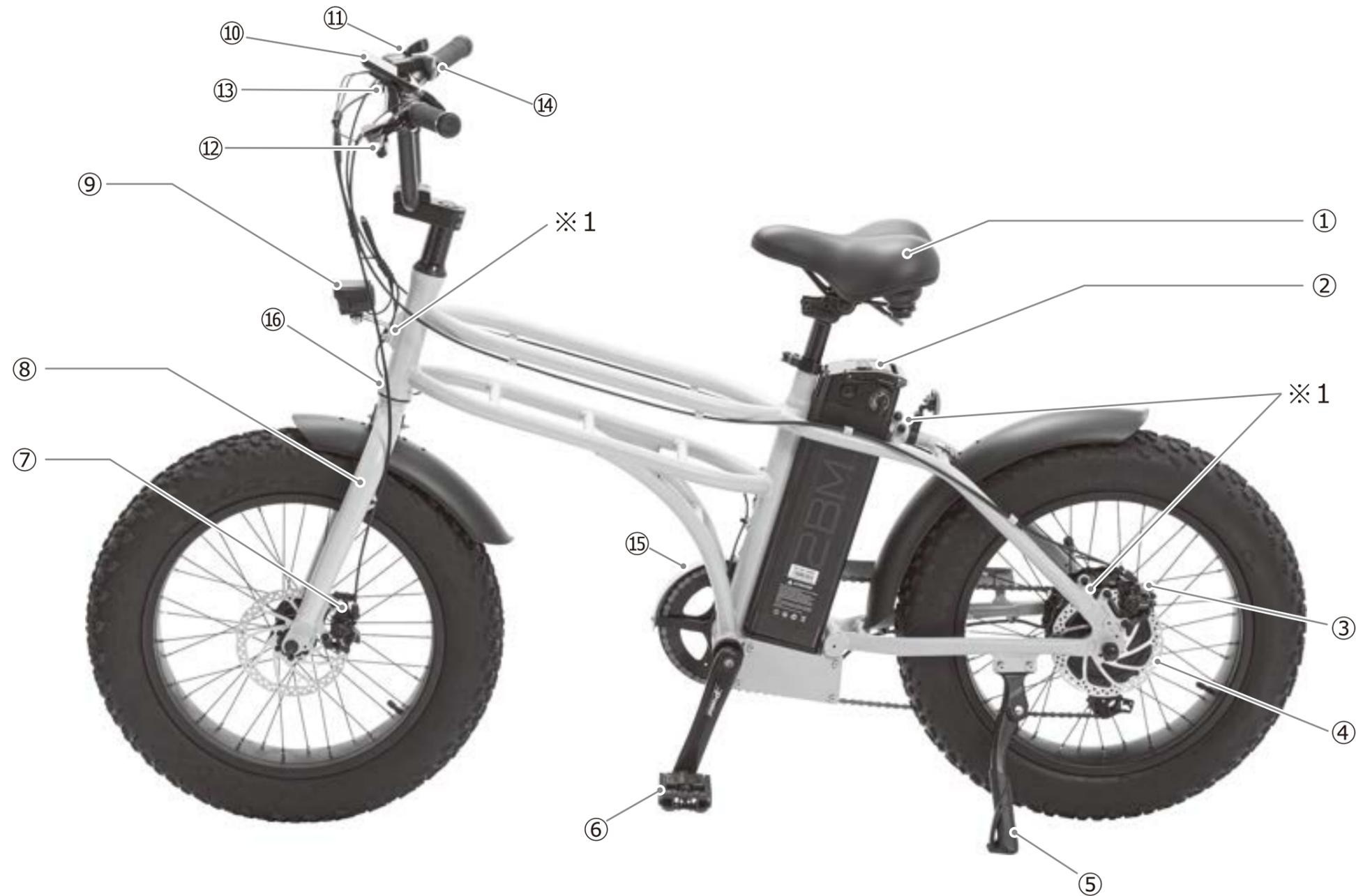
シートを前に倒すことができ、
バッテリー交換がしやすくなっています。



- ②シートの高さ位置を調整し、ナットを締め、クランプレバーを手の平が少し痛くなる程度の締め具合まで押し、固定する。
シートを動かし、左右に回転しない事を確認してから乗車する。

3. 使用方法

3-1. 各部の名前



- ① シート
- ② メインバッテリー
- ③ モーター
- ④ 変速機
- ⑤ スタンド
- ⑥ ペダル
- ⑦ 前輪ブレーキ (ディスクブレーキ)
- ⑧ フロントフォーク
- ⑨ 前照灯
- ⑩ ディスプレイ
- ⑪ ペダル用変速レバー
- ⑫ 後輪ブレーキ (左)
- ⑬ 前輪ブレーキ (右)
- ⑭ 電源/モードスイッチ
- ⑮ チェーンカバー



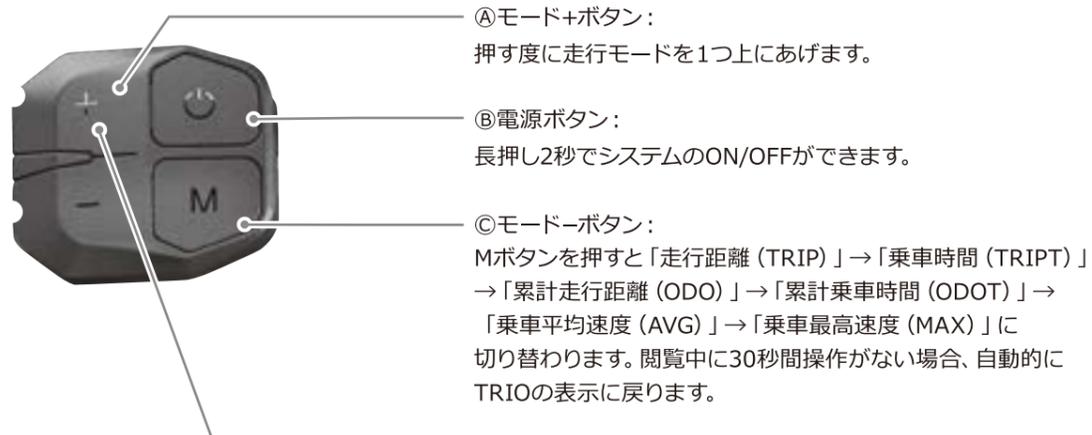
※1 オプション用取付ネジは、ゆるんでいますと紛失する恐れがあるためしっかり固定しておきましょう

仕様変更などによりイラストや内容が一部実車と異なる場合があります。

3. 使用方法

3-2. 電源/モードスイッチの使い方

電源ボタン長押しで自転車のシステムがONになります。



長押しで前照灯をON/OFFができます。

通常は自動点灯になっており、周辺が暗くなると自動で点灯します。一度手動にすると電源再ONするまで自動点灯にはなりません。

3-3. ディスプレイについて

電源ボタン長押しで自転車のシステムがONになります。

①メイン画面



3-4. 乗車前の確認

①タイヤの空気圧

道路状況に応じて乗車前に必ず適正な空気圧であることを確認してください。

道路状況	空気圧 (PSI)	備考
オンロード	20-25 PSI	通常はこの数値を維持してください。
オフロード	12-15 PSI	砂利道や林道など衝撃の吸収が必要な路面に適しています。
雪上、砂地	1-8 PSI	この空気圧ではホイールやタイヤが破損しやすいため、硬い場所を走行しないでください。

②ネジの緩み

以下の各所にネジの緩みがないか確認してください。

確認項目	確認方法
ハンドルバー	乗車状態でハンドルを前後に振りガタ付きがないことを確認
操作スイッチ類	実際に操作し、操作時に動いたり、ガタついたりしない事を確認
前照灯	前照灯の向きが簡単に動かないことを確認
タイヤ (前後)	取り付け部品のレバー (前輪のみ) が倒れており、容易に動かないこと、タイヤにガタ付きがない事を確認
リアキャリア、その他オプション	ガタ付きやボルトが手で回せるまで緩んでいるなどないことを確認

③ブレーキ

以下の項目を確認してください。

確認項目	確認方法
ブレーキの効き	左右のブレーキを握り、ブレーキが確実に利くことを確認
ブレーキキャリパー、ブレーキディスクのガタ付き	ボルトでしっかり固定されており、ブレーキキャリパーやブレーキディスクにガタ付きがないこと
ブレーキディスクとブレーキキャリパーの位置	ブレーキディスクが常にブレーキキャリパーに接触していないことを確認

3. 使用方法

④ 保安部品

以下の項目を確認してください。

確認項目	確認方法
前照灯	前照灯が点灯し、十分な明るさがあることを確認

⑤ バッテリー状態

以下の項目を確認してください。

確認項目	確認方法
バッテリー充電状態	バッテリーのスイッチをONにし、残量ボタンを押してランプが2個以上点灯することを確認
バッテリースイッチ確認	バッテリーの電源スイッチがONになっていることを確認
バッテリーロック	バッテリーキーで固定されていることを確認
バッテリー外観確認	バッテリーの外観上の破損および異常発熱がないか確認
充電口確認	バッテリーの充電口にあるカバーにより、水やホコリが入らないようになっていることを確認

3-5. バッテリーについて (充電方法)

- 電動アシスト自転車の特性上、バッテリーが減ってくるとモーター出力が落ちてきます。速度やトルクが必要な場合はバッテリーをなるべく満充電状態でご使用ください。
- バッテリーは消耗品です。走行距離が短くなってきたと感じたら買い替えを検討ください。

① バッテリー



ⒶキーをONにすることで通電します。ONで通電、OFFで通電解除、押し込んで左に回すと自転車への固定解除になります。

Ⓑバッテリー残量確認：ボタンを押すと、バッテリーの残量をランプで表示します。ランプは3個で赤、緑、緑になります。残量が減ると点灯数が減ります。赤1個は残量なしです。

Ⓒバッテリースイッチ：バッテリー残量を確認するスイッチです。

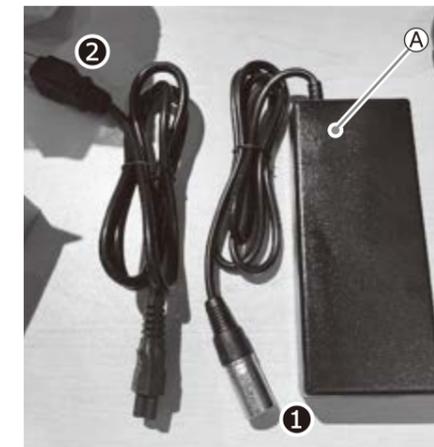
Ⓓ充電ポート：充電時に充電器を接続します。



バッテリーを取り外す際は、サドル後部のレバーでサドルが前に倒れます。



② 充電方法



● バッテリーを充電する際は先に充電器をコンセントに接続した後、充電器とバッテリーを接続してください。

● 充電器の充電状態ランプが赤は充電中を示しています。緑は充電完了です。

Ⓐ充電状態ランプ：赤=充電中、緑=充電完了

①充電器とバッテリーを接続

②ACコンセントをコンセントに接続

4. オプションの取り付け方

4-1. リアキャリアの取り付け方

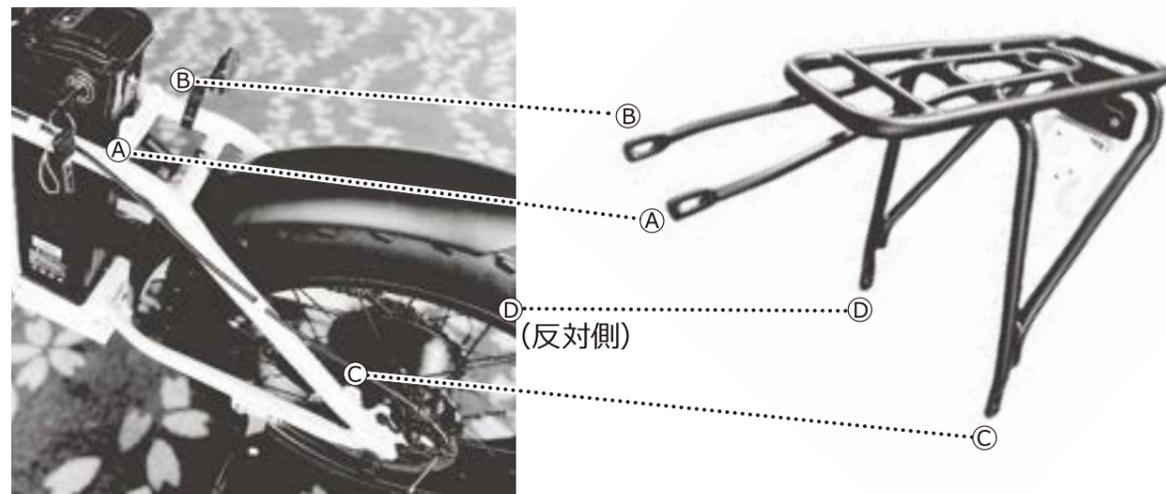
①A・Bの黒いボルトを取り外す。



②C・Dの黒いボルトを取り外す。



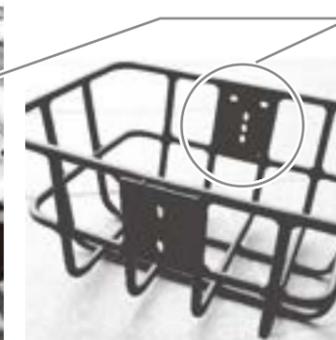
③フレームとリアキャリアのそれぞれのアルファベット同士を重ね合わせ、
①②で取り外したボルトを使って取り付け、しっかりと固定する。



がたつきがないことを確認できたら完成。

4. オプションの取り付け方

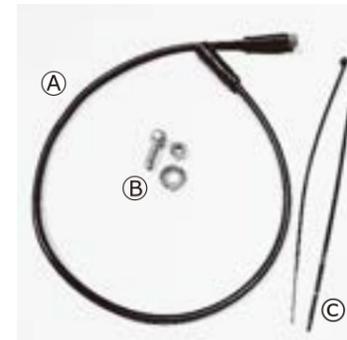
4-2. 前カゴの取り付け方



①3つのボルトをすべて取り外し、
自転車の穴の部分と前カゴの
穴の部分进行合わせる。

②①で取り外したボルトで
車体へ取り付け。

ぐらつきのないようしっかりと固定する。



③前照灯のケーブルを抜き
Aの延長ケーブルを接続する。

▶の印がぴったりと合うよう
水平に差し込んでください



④丸の部分にBのボルトを使って
前照灯を取り付ける。
(ケーブルはカゴの下を這わせませ)

ぐらつきのないようしっかりと固定する。



ぐらつきのないようしっかりと固定する。

●の結束バンドでケーブルをカゴに固定すると
煩わしさが減少します。

5. メンテナンス

5-1. 日常のお手入れ

- 本製品は雨天を考慮しておりますが、浸水や豪雨には対応していません。保管時は屋根の下、またはカバーをつけてください。
- 汚れた場合、水による洗車は絶対にしないでください。乾いた布で拭いていただくか、布を濡らし、硬く絞った上で拭き取ってください。

5-2. 定期的な点検

- 点検で不明点がありましたら販売元、または最寄りのバイク、自転車修理店にご相談ください。
- 株式会社ツバメ・イータイムズの2BMホームページ (<https://2bmbike.com/>) では随時、最新情報を更新しています。定期的に(数ヶ月に1度)チェックしてください。

6. 廃棄について

- 本製品の廃棄にあたっては管轄の自治体の規定に従ってください。
- 本製品のバッテリーはリチウムイオン電池です。絶対に他のゴミと一緒に捨てないでください。

7. 保証について

■保証範囲

本保証は、お客様が商品の取扱説明書に従った通常の使用において発生した製造時の不具合に起因する故障の場合、初期不良の場合にのみ有効です。

■故障した場合の対応について

バッテリー、モーター・コントローラー、その他機能部品(下記に記載)につきましては、規定期間のメーカー保証がございます。故障箇所に対応する部品での対応となります。

■保証期間

(1年間) フレーム・モーター・トルクセンサー・コントローラー
(6カ月) ペダル・ブレーキレバー・サドル・充電器・ライト・ディスプレイ・反射器・バッテリー(充放電約500回)

保証対象外: タイヤ・チューブ・ブレーキ

■保証適応外に関して

お客様の誤った操作やご乗車環境、ご使用状況や条件により発生した故障は対象外となります。また、以下に該当する場合は適用されません。

- 使用上の誤りや不当な修理及び改造による故障や損傷の場合
- 落下、転倒、輸送の不具合等、不適切な取り扱いの場合
- 地震や火災等、震災等での外的要因による故障や損傷の場合
- 保証書の提示が無い場合
- 保証書の記載内容に空欄や改ざん及び不正があった場合
- 消耗部品の故障及び損傷・消耗・改造・修理調整がされている場合
- バッテリーを使い切って故障した場合
- モーターの過度回転域での使用、油脂類の欠損による故障の場合
- お客様自身による日々のメンテナンス、点検を怠った事が原因による故障の場合

販売証明書

本書に記載した各事項に適合する自転車は、当社(店)が下記の購入者に販売いたしました。

販売日 年 月 日

販売会社	株式会社 ツバメ・イータイムズ 〒740-0034 山口県岩国市南岩国町3丁目11-6
販売店	

ご購入者	住所
	ふりがな 氏名
	電話番号

お客様にてご記入を
お願い致します。

【販売自転車の仕様】

メーカー名	ツバメ・イータイムズ	車体番号	
車種	TBM-GK1	タイヤサイズ	20インチ
カラー	SNOW・MATCHA・CHAI BABY PINK・TOKYO BLACK	バッテリー	リチウムイオン 36V/13Ah

【お客様へ】

この度は当社の自転車をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

本証明書は、当社販売商品の自転車をご購入いただきましたことを証明するものです。自転車防犯登録を受ける際にご提示ください。

※自転車防犯登録を受ける場合、お客様の居住等を確認できるもの(運転免許証、健康保険証、学生証等)が必要です。

※防犯登録を受ける場合、別途登録料が必要です。

**TSUBAME
E-TIMES**

株式会社 ツバメ・イータイムズ

〒740-0034 山口県岩国市南岩国町3丁目11-6